

9月10日は「下水道の日」です 1 下水道への接続をお願いします

問 建設課 都市整備班 ☎ 38 - 4306

快適で衛生的な生活環境を確保するため、下水道を整備しています。下水道が整備された地域では、台所やトイレなどの排水を下水道に流せるように排水施設を設置し、下水道へ接続するようお願いします。

下水道について

下水道とは、私たちの毎日の生活の中で発生する汚水(し尿や生活雑排水など)を浄化処理して、快適で衛生的な生活を営むための施設・設備です。汚水は、各家庭などから道路に埋設された下水道管を流れ、下水処理場を集められて浄化されます。そのため、道路側溝などには汚水は溜まらず、害虫や悪臭の発生が防げ、街が清潔に保たれます。さらに、川、湖、海などに汚水が流れることもなくなり、水質の改善や水辺環境の再生が図られます。

下水道の使用について

下水道は、公共施設であり、ライフラインでもあります。そのため、使用に当たってのルールがあります。残念なことにルールに反する使用により、下水道管の詰まりや機械設備の故障事故がたびたび発生しています。時にはタオルや雑巾などが下水道に流され、復旧に多くの時間と費用を要することもあります。故障することで、下水道は使用できなくなるばかりか他の利用者へも迷惑を及ぼすことにもなりますので、下水道使用のルールを守ってご使用くださるようお願いします。

下水道へ接続のお願い

市で整備した下水道管へ各家庭などからの汚水を流すことで生活環境が改善されます。そのためには、各家庭などにおいて下水道への接続工事を行っていただく必要があります。

各家庭などから下水道に接続するためには工事費用などの負担が生じることとなりますが、下水道の趣旨をご理解いただき、下水道が整備された地域ではお早めに接続をしていただきますようご協力をお願いします。



下水道マスコットキャラクター「スライ」

下水道に流してはいけないもの



2 にかほ市臨時職員募集

問 総務課 人事秘書班 ☎ 43 - 3200

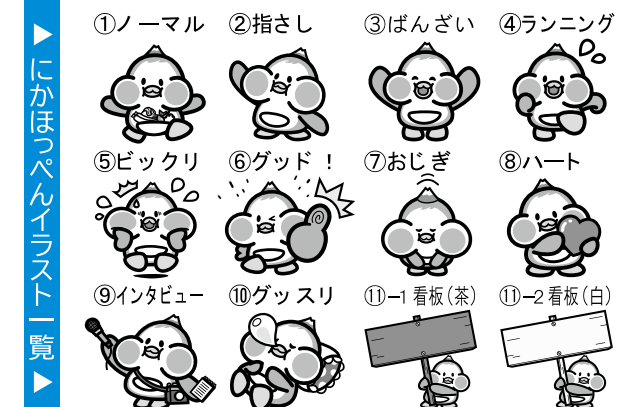
対象 にかほ市に居住する方（障がい者手帳などをお持ちの方も申し込みできます）
雇用期間 10月1日～平成31年3月31日（更新も可）
勤務時間 8:30～17:15（休憩60分）
※②は交代制勤務(土日祝日ナイター勤務あり)

応募方法 総務課人事秘書班、金浦市民サービスセンター、市民課市民サービス班に備え付けの指定用紙により応募
応募期限 9月7日(金) 午後5時まで
採用方法 ◆1次…書類選考（選考後、面接日を連絡）
◆2次…面接（担当課で実施）

No.	職種	勤務地(担当課)	人数	賃金	勤務形態	保険	必要資格など
①	一般事務補助(市民課戸籍住民班窓口業務)	仁賀保庁舎(市民課 ☎ 32 - 3035)	2人	5,950円(日額)	週2～3日程度(月11日)	なし	パソコン操作のできる方(エクセル、ワード)
②	施設管理(窓口・電話対応、施設環境整備)	白窓苑(とんがり童夢パオ)(観光課 ☎ 43 - 3230)	1人	7,200円(日額)	週3～4日程度(月16日程度)	なし	草刈機操作のできる方

3 にかほ市公認マスコットキャラクターイラスト

問 観光課 観光振興班 ☎ 43 - 3230



にかほ市公認マスコットキャラクターにかほっぺんのイラストをご利用ください。
※利用には申請が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。
※実際のイラストはカラーでご利用いただけます。
※ご利用にあたっては、いくつかルールがあります。
申請の際にご確認ください。



使ってもらえたら嬉しいっぺん

子どもらしさと大人らしさ



にかほ市長 市川雄次

創造を想像する

暑かった今年の夏も終わりました。今年も平沢、金浦、象潟の3つの地域振興協議会が、夢の祭典in潮風、金浦湾頭まつり、キャンドルコンサートといった夏祭りをそれぞれの地区で開催してくれました。あいにくの雨模様で、残念ながら体育館で開催する所もありましたが、いずれの会場でもはしゃぐ子どもたちと目を細めてそれを見守る祖父母の姿が見られるなど、賑やかなうちに終えることができました。関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

また、祭り会場の所々で見られた色あでやかな浴衣を身にまとう女の子たちとその姿を照れくさそうに見ている男の子たちの光景が何とも微笑ましく、青っぽい雰囲気を感じさせてくれました。祭りとは、ある意味子どもたちがそんな淡い瞬間を経験しながら大人へと成長して行くための機会なのかもしれません。そう考えると、祭りを準備してあげるものが大人らしい振る舞いの一つと言えるのではないのでしょうか。

「第三の居場所」づくりを
さて、日本財団では平成32年度までに、B&G関連施設のある全国の自治体と協力しながら、「家でも学校でもない第三の居場所」を全国100箇所に整備するとしています。本市にも案内があり、その設置について検討しています。

今、日本は6人に1人の子どもが相対的貧困にあり、経済的理由で修学旅行に行けなかったり、部活ができなかったり、子どもたちが子どもたちらしく生きられない状態にあります。そして、子どもの貧困に対する取り組みは、地域による地道な活動により進められてきました。最近よく耳にする「子ども食堂」や「無料塾」などがそれにあたります。

政府も31年度までに全国で延べ50万人の小中学生が利用できる居場所づくりを進めようとしています。前述の日本財団による取り組みもその一端です。

子どもたちに均しいチャンスを
子どもたちへの機会は均等でなければなりません。学ぶ権利などの基本的な権利が、自分ではどうしようもない理由によって奪われていいわけがないのです。将

来のある子どもたちに多くのチャンスを与えるのが大人の役割だと私は思います。もちろん、夢を実現するのは難しいです。夢を実現できない原因は経済的理由だけではありません。しかしながら、子どもたちが自分ではどうにもできない理由で夢をあきらめたり、夢すら持てずにいるならば、それほど悲しいことはありません。

学ぶことだけがすべてとは言いませんが、少なくとも学ぶことについてのチャンスは準備してあげるべきだと私は思います。繰り返しますが、それが大人の役割だと思っています。

「にかほ市奨学金返還助成制度」の活用を
今年度から「奨学金返還助成」という新たな制度を始めました。この制度は人口減少対策の意図を強く含んでいることをあらかじめ申し上げておきます。

助成の率と額は年返還額10分の10（上限20万4千円/年）、助成期間は奨学金貸与期間により異なりますが、3年間もしくは5年間で、いずれも県が実施している同様の奨学金返還助成に上乗せをしながらの助成となります。

また、対象となるには、①対象奨学金の返還中か返還予定であること、②にかほ市に住所があり居住していること、③就職していること、の3つの条件をすべて満たしていなければなりません。

詳細については、市役所にお問い合わせください。ぜひ、多くの人に活用してもらいたいと思います。

主な内容 Line up

- 2 特集：姉妹都市アナコーテス市訪問団がにかほ市を訪問
- 4 特集：姉妹都市ショウニー市訪問団がにかほ市を訪問
- 6 市長コラム～創造を想像する～
- 7 行政情報チャンネル
- 11 戸籍の窓口、9月の行事予定表

- 12 ぐらしの掲示板
- 16 福祉・健康・保健
- 17 まちの話題
- 21 千客万来にか本舗
ジオパークリレーコラム